

文化財だらけ！ 仏像、御神木、古墳の“重厚”なパワーで ちっぽけな自分が変わるかも

ふるつきよこゑな ◆古月横穴 国指定史跡

古墳時代後期（6世紀後半から7世紀）に造られた横穴墓群で、現在40基が確認されています。通常の古墳のように土を盛った墳丘を持つものや、内部に装飾があるものもあります。中でも9号墓の内部には赤い色の文様が描かれており、県内では珍しい横穴墓です。

鞍手町大字古門3080-1
アクセス/すまいるバス「古月横穴」バス停から徒歩約2分
P/有



◆十六神社『大楠』

町指定文化財

十六神社の境内にある大きなクスノキは、推定樹齢が500年ともいわれる古木です。幹周りが約5メートルもあり、大きな枝を広げた姿は迫力満点。幹の中央には大きな空洞があり、自然の造形美を感じさせます。幹の周りにはしめ縄がかけられ、神社の御神木として厚く信仰されています。

鞍手町大字八尋489
アクセス/すまいるバス「神田入口」バス停から徒歩約5分
P/なし 見学時間/見学自由

ほかに鞍手町には、中山不動尊の「木造不動明王及二童子像」(国指定重要文化財)や「高木薬師如来」(町指定文化財)など、歴史的価値のあるお宝がたくさんあります！



▲頭の上には11の化仏といわれる仏の頭が置かれている。

ちょうこくじ ◆長谷寺 (通称「はせでら」) 『木造十一面 観音立像』

国指定重要文化財

地域の人たちから親しみを込めて「長谷の観音さま」と呼ばれている、長谷寺の「木造十一面観音立像」。平安時代(10世紀頃)に造られたといわれる、歴史のある仏像です。頭部から蓮の台座までが1本のクスノキから掘り出されており、背面の光背には炎の文様が描かれているなど、細部に渡って見ごたえがあります。

鞍手町大字長谷546-2
アクセス/
すまいるバス「室木」バス停から徒歩約20分
P/有 拝観日/毎月17日、18日

▲観音像の高さは188センチメートル。背面の光背を含めると、さらに大きさを増して迫力を感じる。



見ているだけで、
歴史の深みに
吸いこまれそう

十六神社の大楠